

たかやま共創ミーティング（第2弾）

～テーマ 自然災害時の避難所運営について考える～

【ミーティング内容】

○避難所運営の課題抽出、整理

< 1 グループ >

- ①連絡・安否確認の方法
 - ②スペースの確保（トイレ、車中泊避難者、ペット連れ避難者）
 - ③要支援の方のサポート（障がい者、高齢者、アレルギー）
 - ④スタッフの確保（初期対応時の人員確保、長期対応となった場合の人員の確保）
 - ⑤組織や仕組み（自主防災組織など）
 - ⑥長期化の対応（メンタルケア、災害関連死防止）
- ※補足 町籍簿の更新（現在紙ベースで管理）
- 町内会未加入者対策
 - 福祉避難所の整備
 - ジェンダー対応の運営
 - 防災の知識、平時の備え
 - 地域力、コミュニティ力
- } 防災力の向上・底上げ＝「共助」

< 2 グループ >

- ①避難所運営の役割
 - ・避難者と行政の役割分担
 - ・中心人物（リーダー）となる人材はいるか
 - ・女性の課題に対応するため、女性が中心となった運営（関わり）ができるか
 - ・避難所へ行けばすべて面倒が見てもらえると思っていないか
 - ・開設方法、鍵、電気のスイッチ類が把握できているか
 - ・指定避難所だけで避難者を収容できるのか
- ②避難所のレイアウト
 - ・避難所内のゾーニングをどうするか
 - ・高齢者、女性、子どもへの配慮は
 - ・ペット連れ対応は（苦手な人もいる）
 - ・病気等で動けない人への対応ができるか
- ③備蓄品
 - ・必要なものはそろっているのか
 - ・分配計画はあるのか（家族にいくつ等）
 - ・子どもの遊び道具が必要

④孤立地区の対応

- ・日本一の面積の市内をどのようにカバーするか、空輸を前提とした検討が必要では
- ・避難所が分散しすぎており、支援が困難にならないか

⑤防災情報の入手

- ・市内各地の被災情報（市全体で何が起きているのか）の入手方法を持っているのか

⑥住民対応

- ・町内会未加入世帯への周知、協力体制は
- ・避難しない人をどうするか

⑦観光客対応

- ・観光客の避難の方法、案内方法は
- ・外国人観光客をどう支援するのか
- ・宿泊施設の対応マニュアルを市でも把握しては

< 3 グループ >

①避難所開設前対応

- ・要支援者の避難所への誘導、安全な移動経路の確認方法
- ・避難所生活における心構えを、日常生活の中で意識する
- ・普段からの近隣住民とのつながり
- ・避難所へ持参する家族の物資の確保（準備）

②避難所開設

- ・何を一番最初に行うのか
- ・あらかじめ運営方法を決めておく
- ・避難所内での役割分担
- ・避難所内部の把握
- ・発災直後と数日経過後では運営の状況が違ふ
- ・運営を理解している人が受付を行う
- ・避難所内のトイレが使えない場合、仮設トイレ、簡易トイレの設営ができるか

③避難所生活 2 日目以降

- ・敷材の数量の把握
- ・プライベート空間の確保（仕切り）
- ・ペット連れ避難者の対応
- ・避難者一人一人が行動できるようにする
- ・家族の把握
- ・健康状態の把握
- ・避難時に家族、男女などある程度分ける
- ・医務室はあっても医師がいない時の対応
- ・避難所には誰（どういう人）が来るのか